

不動産ご購入者様のパートナー『総合 FP 事務所の株式会社 FREE PEACE』が発行しています。

## 私たちは老後をどう生きるか

平均寿命が延びている日本人に「人生 100 年時代」という言葉は付き物です。しかしリタイアしてからの時間が長くなるほど必要になるお金も増えますよね。老後に必要なお金について考えようとしても漠然としていて難しいと思う方もいらっしゃるでしょう。今回は、具体的な数字とともに老後資金についてイメージしやすくなる情報をご紹介します。

### ・およそいくら必要になるのか

総務省統計局のデータを参考に算出した、65 歳以上の無職世帯の生活費として考えるべき金額は、単身世帯で 154,125 円、夫婦のみの世帯では 1 か月あたり 268,508 円です。勤労世帯に比べて外出頻度が減り、在宅時間が長くなる傾向にあるため水道光熱費が高くなり、保健医療費の支出も増えます。また、交際費の支出も増えていて、勤労時間が減った分交友に費やす時間と金額が増えていることがうかがえます。その一方で税金や社会保険料などの非消費支出が大幅に減ったことで、全体としては 65 歳以上の無職世帯の方が勤労世帯より約 4 割少ない金額となりました。

老後に必要な資金はもちろん生活費だけではありません。子どもや孫がいる場合にはライフイベントに伴ったお祝い費用、マイホームを購入した場合にはメンテナンスを含めたリフォーム費用、高齢化に伴ってリスクが高まる入院・手術費用、そして介護費用、葬儀代です。たくさんお金がかかりますね。

### ・実際のところは

65 歳以上の無職世帯における公的年金給付を含む社会保障給付の収入は、単身世帯では 1 か月あたり平均 121,496 円、夫婦のみの世帯では 220,418 円です。上に示した想定される生活費の金額と比較すると、世帯人数にかかわらず赤字が生じることになります。赤字が積み重なると単身世帯では 1 年で 391,548 円、平均寿命までを考えると約 20 年と考えると 7,830,960 円の赤字です。夫婦のみ世帯では 1 年で 577,080 円、20 年間で 11,541,600 円もの赤字金額になります。さらに生活費以外の費用も含めると、より大きな金額が必要です。

### ・老後資金を貯めるには

この赤字の金額を補てんするためにおすすめなのが、資産運用です。ここでは NISA と iDeCo を例に挙げます。まず NISA は 2024 年から新しい制度が始まり、年間 360 万円まで非課税で運用可能になるため資産形成の効率が良くなります。（現行制度との違いは FP 通信 11/30 号をご参照ください。）

iDeCo（個人型確定拠出年金）は毎月の掛金を積み立てて自分で運用を行うもので、税制優遇を受けながら将来を見据えた資産形成ができます。（詳しくは FP 通信 12/1 号をご参照ください。）

### 【小坂橋の視点】

今回紹介した 65 歳以上の生活費の金額はあくまでも平均的なものですので、ゆとりを持たせたいのであればさらに高く見積もる必要があります。投資は早いうちから始めて、時間をかけていくことで利益が大きくなりやすいです。この FP 通信を読んで老後資金に対するイメージが少しでも明確になった方、まだ漠然としている方も、ぜひ FREE PEACE に気軽にご相談ください。

### 株式会社 FREE PEACE

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビルディング 15 階

TEL：03-6258-1131 FAX：03-6258-1132 URL：http://free-peace.co.jp

**2011 年 4 月より活動を開始し、皆様のお陰で現在では年間 組を超える住宅購入相談実績をもつ企業に成長致しました。今後もお客様をサポートする最良のパートナーである事を約束します！！**